

千葉市子育て環境に関する

アンケート調査結果

【60代】

平成22年3月

千葉市

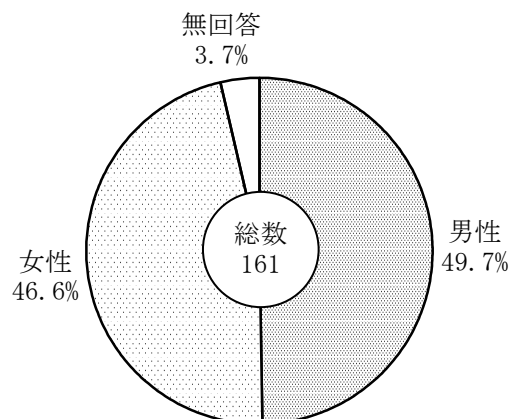
## 目次

1	基本属性について.....	1
2	地域での活動について.....	5
3	少子化の要因について.....	8
4	子育て支援について.....	12

## 1 基本属性について

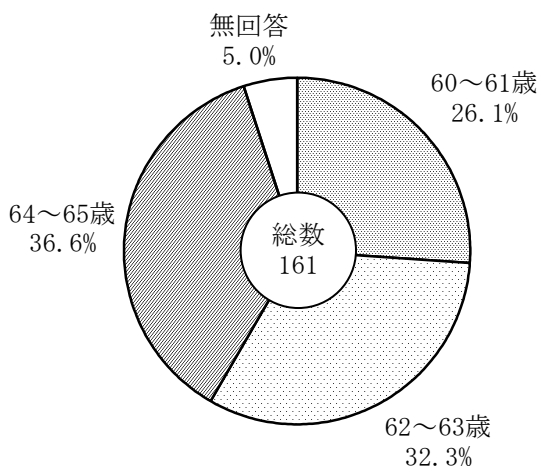
### (1) 性別

性別については、「男性」(49.7%)、「女性」(46.6%)となっています。



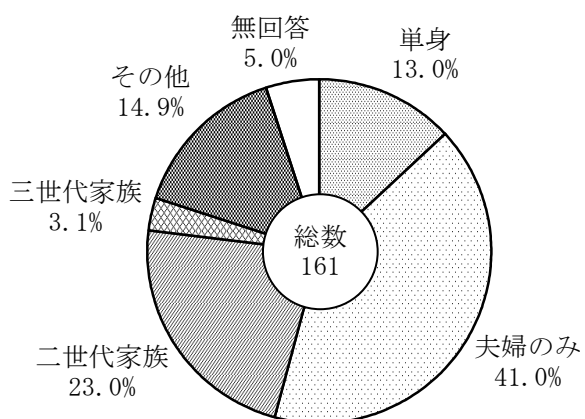
### (2) 年齢

年齢については、「64～65歳」(36.6%)が最も多く、次いで「62～63歳」(32.3%)、「60～61歳」(26.1%)となっています。



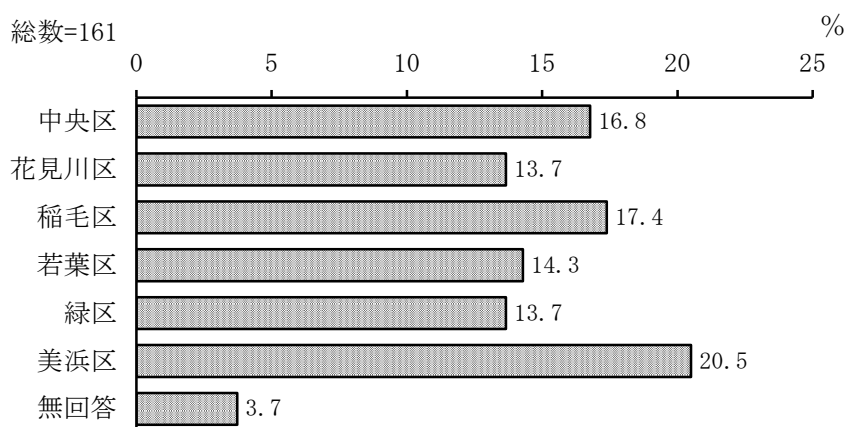
### (3) 家族構成

家族構成については、「夫婦のみ」(41.0%)が最も多く、次いで「二世世代家族」(23.0%)、「単身(ご本人1人)」(13.0%)となっています。



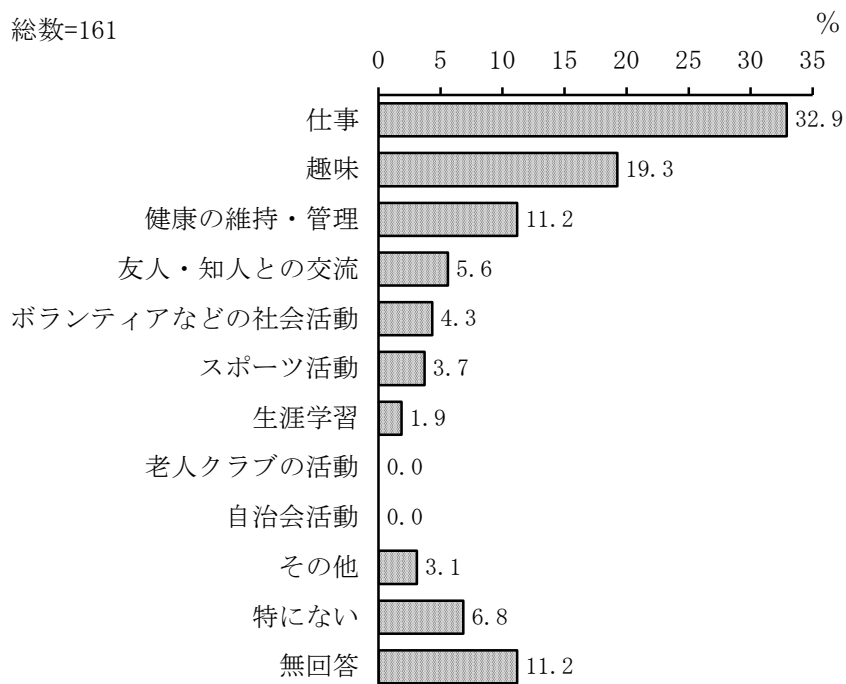
#### (4) 居住地域

住んでいる地域については、「美浜区」(20.5%)が最も多く、次いで「稲毛区」(17.4%)、「中央区」(16.8%)となっています。



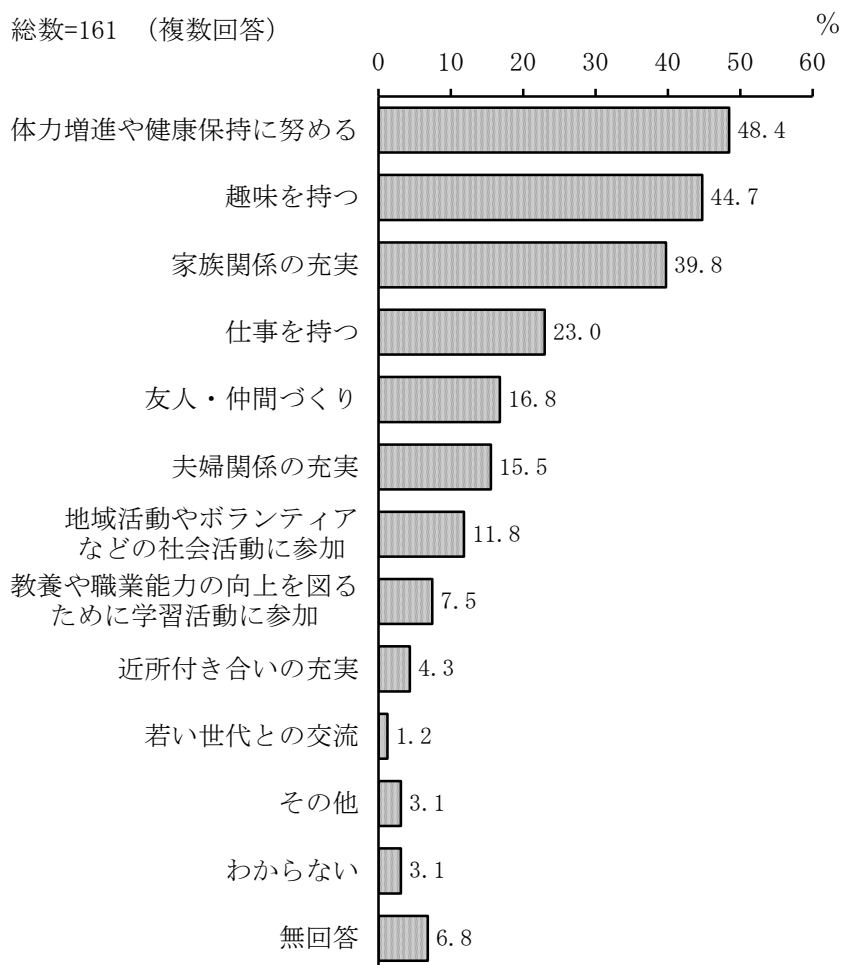
#### (5) 現在積極的に行っている活動

現在最も積極的に行っている活動は、「仕事」(32.9%)が最も多く、次いで「趣味」(19.3%)、「健康の維持・管理」(11.2%)となっています。



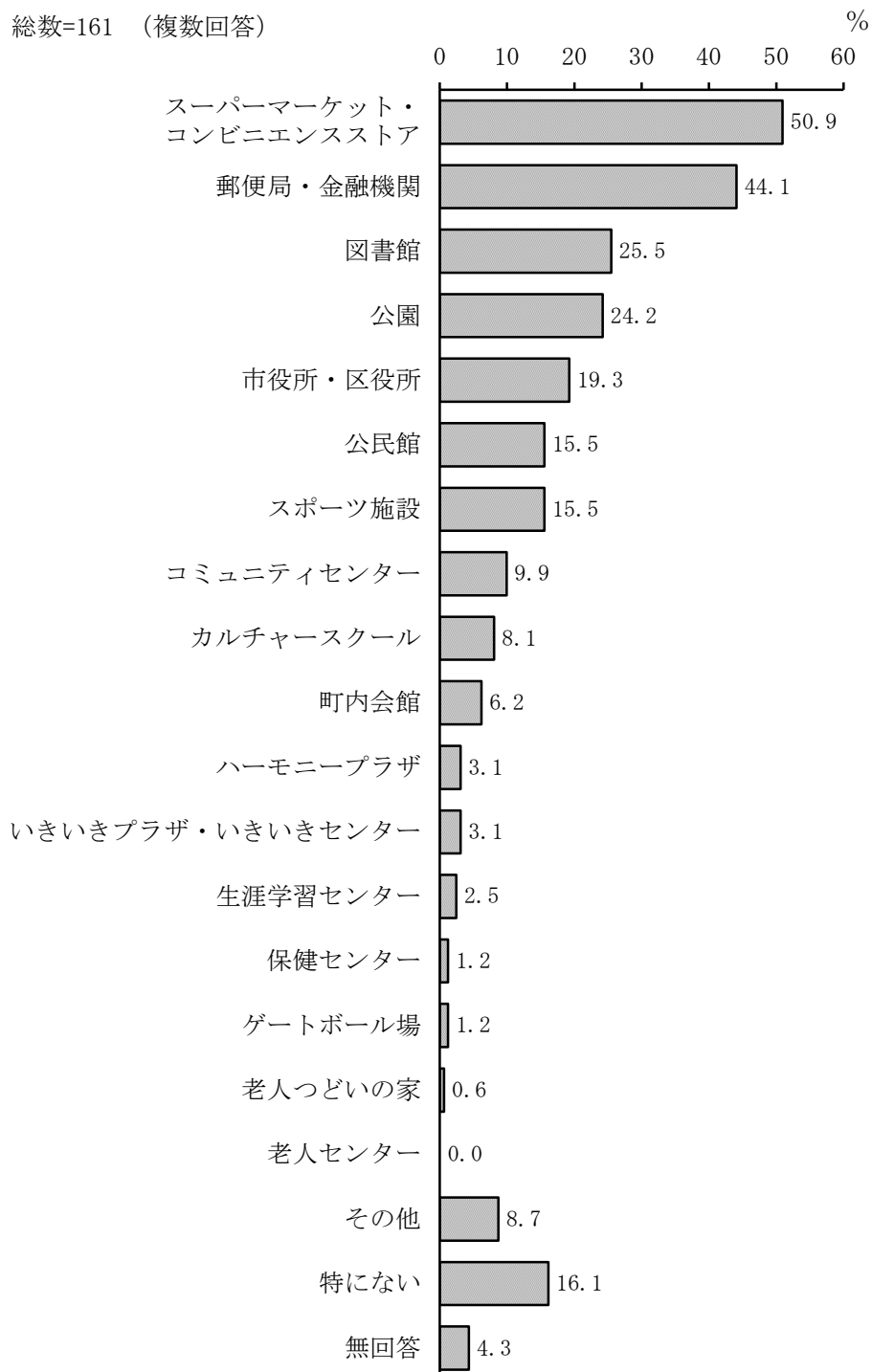
## (6) 生きがい

生きがいについては、「体力の増進や健康の保持に努めること」(48.4%)が最も多く、次いで「趣味を持つこと」(44.7%)、「家族関係の充実」(39.8%)が多くなっています。



### (7) 日常利用している施設

日常利用している施設については、「スーパーマーケット・コンビニエンスストア」(50.9%)が最も多く、次いで「郵便局・金融機関」(44.1%)、「図書館」(25.5%)、「公園」(24.2%)が多くなっています。

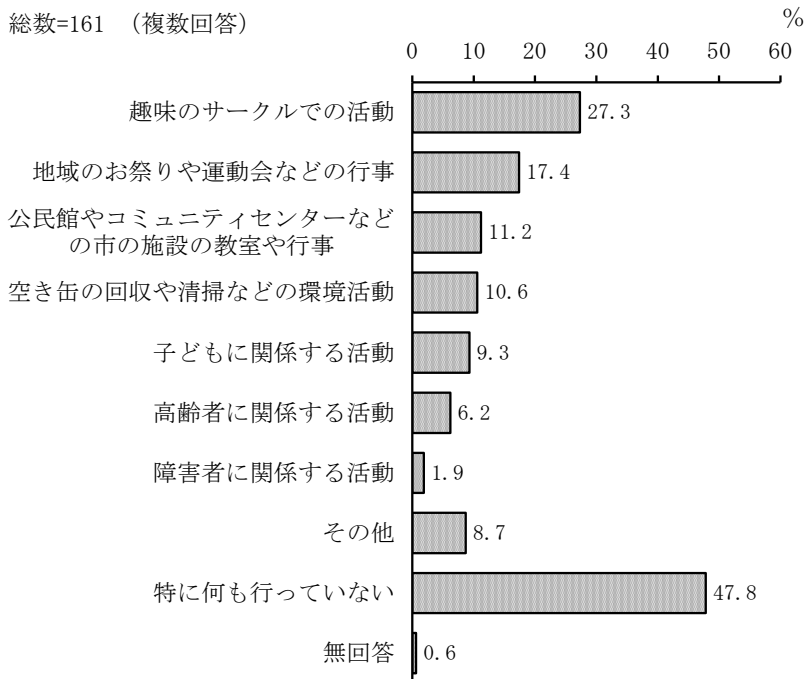


## 2 地域での活動について

### (1) 地域での活動について

#### ①現在行っている地域活動

現在行っている地域活動については、「趣味のサークルでの活動」(27.3%)が最も多く、次いで「地域のお祭りや運動会などの行事」(17.4%)、「公民館やコミュニティセンターなどの市の施設の教室や行事」(11.2%)が多くなっています。また、「特に何も行っていない」(47.8%)が5割弱となっています。



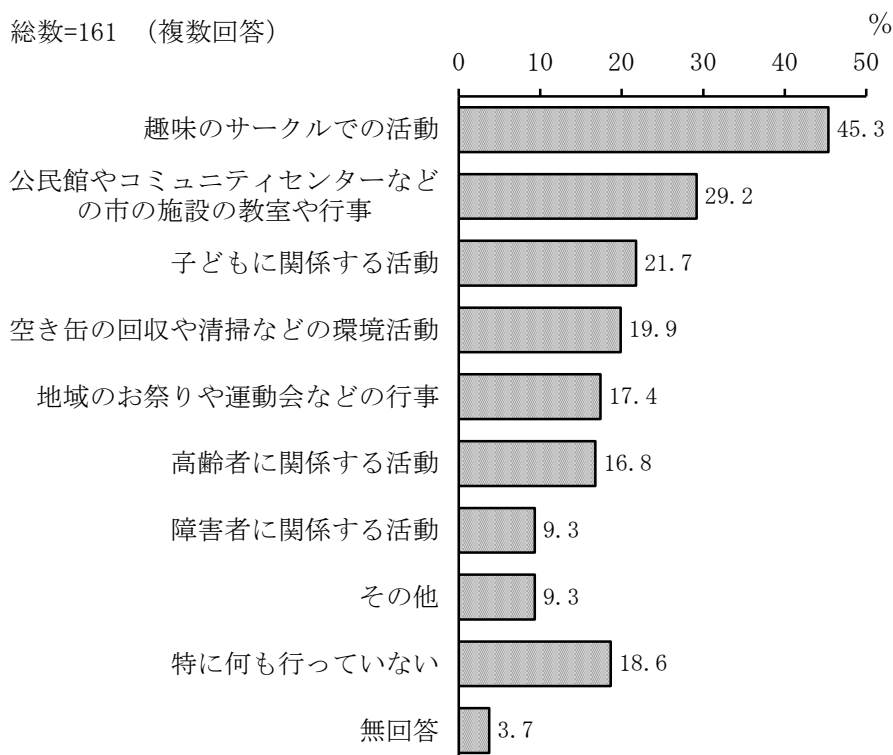
性別との関係でみると、「地域のお祭りや運動会などの行事」「趣味のサークルでの活動」「公民館やコミュニティセンターなどの市の施設の教室や行事」「子どもに関する活動」という回答は、女性が男性より10ポイント程度高くなっています。一方、「特に何も行っていない」という回答は、男性が女性より17.5ポイント高くなっています。

#### 【現在行っている活動と性別】

性別	全体	地域のお祭りや運動会などの行事	空き缶の回収や清掃などの環境活動	趣味のサークルでの活動	公民館やコミュニティセンターなどの市の施設の教室や行事	子どもに関する活動	高齢者に関する活動	障害者に関する活動	その他	特に何も行っていない	無回答	
		割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	
	全体	161 100.0	28 17.4	17 10.6	44 27.3	18 11.2	15 9.3	10 6.2	3 1.9	14 8.7	77 47.8	1 0.6
性別	男性	80 100.0	10 12.5	5 6.3	18 22.5	5 6.3	3 3.8	4 5.0	1 1.3	7 8.8	46 57.5	-
	女性	75 100.0	18 24.0	11 14.7	24 32.0	12 16.0	11 14.7	5 6.7	2 2.7	7 9.3	30 40.0	-
	無回答	6 100.0	-	1 16.7	2 33.3	1 16.7	1 16.7	1 16.7	-	-	1 16.7	1 16.7

## ②今後行いたい地域活動

今後行いたい地域活動については、「趣味のサークルでの活動」(45.3%)が最も多く、次いで「公民館やコミュニティセンターなどの市の施設の教室や行事」(29.2%)、「子どもに関する活動(NPO、ボランティア含む)」(21.7%)が多くなっています。



性別との関係でみると、「地域のお祭りや運動会などの行事」「趣味やサークルでの活動」「子どもに関する活動(NPO、ボランティア含む)」「高齢者に関する活動(NPO、ボランティア含む)」という回答は、女性が男性より10ポイント以上高くなっています。一方、「特に何も行ないたくない」という回答は、男性が女性より14.3ポイント高くなっています。

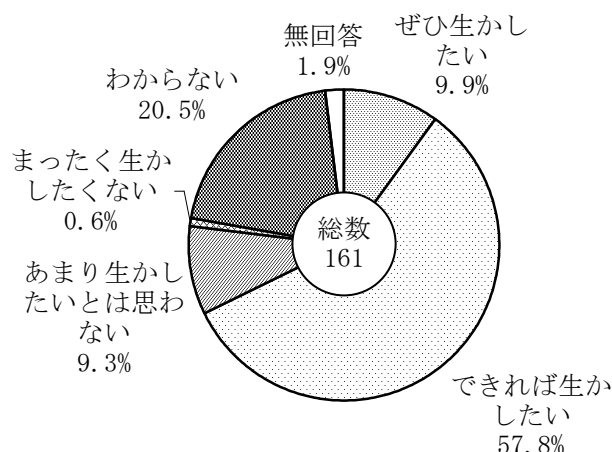
### 【今後行いたい活動と性別】

	全体	地域のお祭りや運動会などの行事	空き缶の回収や清掃などの環境活動	趣味のサークルでの活動	公民館やコミュニティセンターなどの市の施設の教室や行事	子どもに関する活動	高齢者に関する活動	障害者に関する活動	その他	特に何も行っていない	無回答
全体	161 100.0	28 17.4	32 19.9	73 45.3	47 29.2	35 21.7	27 16.8	15 9.3	15 9.3	30 18.6	6 3.7
性別	男性	80 100.0	9 11.3	17 21.3	32 40.0	20 25.0	11 13.8	8 10.0	4 5.0	9 11.3	2 2.5
	女性	75 100.0	16 21.3	15 20.0	40 53.3	25 33.3	21 28.0	17 22.7	11 14.7	6 8.0	9 12.0
	無回答	6 100.0	3 50.0	-	1 16.7	2 33.3	3 50.0	2 33.3	-	-	1 16.7



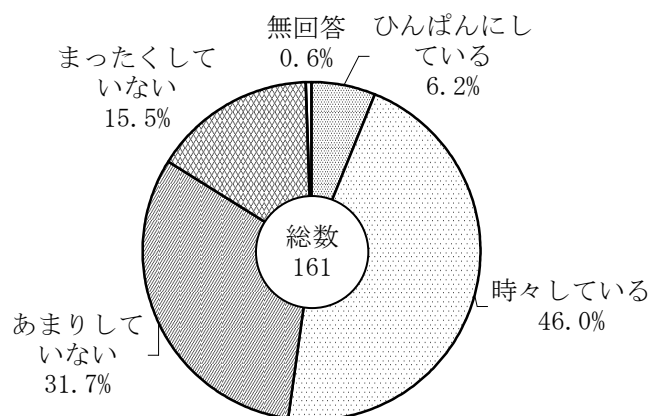
## (2) 自分の知識・経験等を地域活動において生かす意向の有無

地域において自分の知識・経験等を生かす機会があれば、それを生かしたいと思うかについては、「できれば生かしたい」(57.8%)が最も多く、次いで「わからない」(20.5%)、「ぜひ生かしたい」(9.9%)、「あまり生かしたいとは思わない」(9.3%)となっています。



## (3) 地域の子どもたちへの声かけ、注意等の頻度

地域の子どもたちに声をかけたり、注意を与えたりすることについては、「時々している」(46.0%)が最も多く、次いで「あまりしていない」(31.7%)となっています。



性別との関係でみると、「ひんぱんにしている」「時々している」という回答を合わせると、女性(62.7%)が男性(42.5%)より20.2ポイント高くなっています。

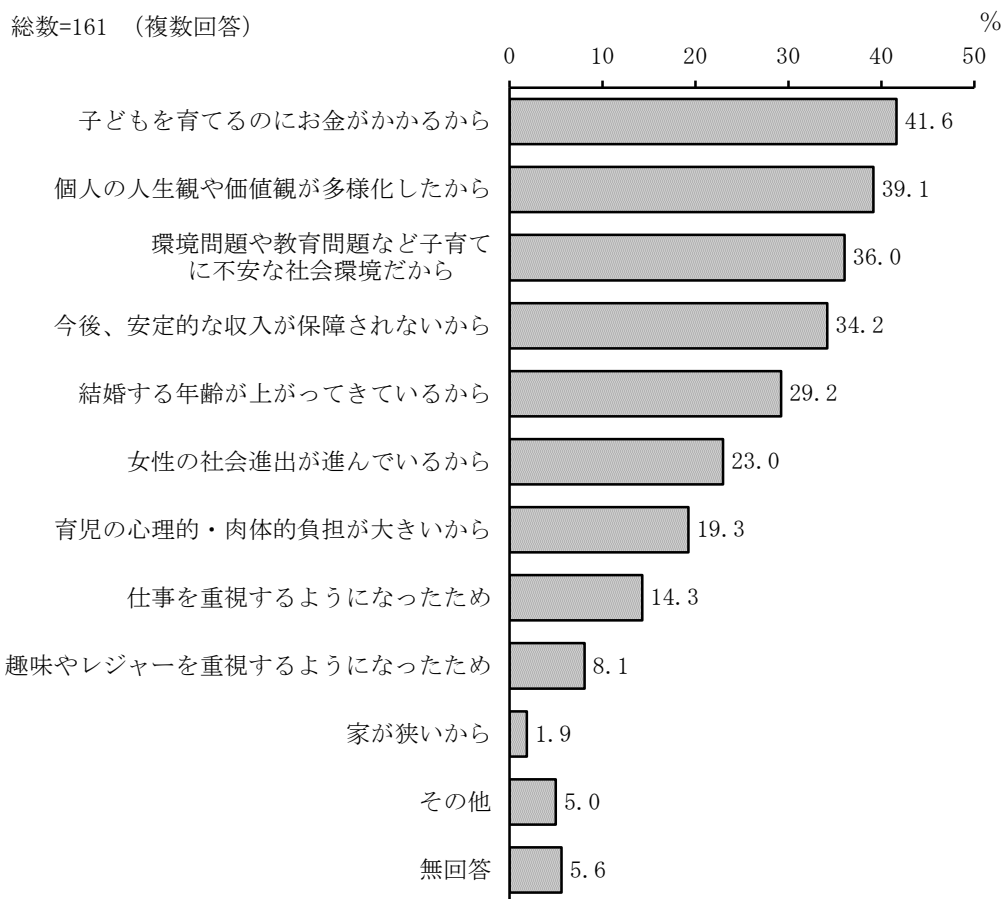
### 【地域の子どもたちへの声かけ、注意等の頻度と性別】

		全体	ひんぱんにしている	時々している	あまりしていない	まったくしていない	無回答
全体		161	10	74	51	25	1
		100.0	6.2	46.0	31.7	15.5	0.6
性別	男性	80	2	32	32	14	-
		100.0	2.5	40.0	40.0	17.5	-
	女性	75	8	39	17	11	-
	100.0	10.7	52.0	22.7	14.7	-	
	無回答	6	-	3	2	-	1
		100.0	-	50.0	33.3	-	16.7

### 3 少子化の要因について

#### (1) 少子化が進行している理由

千葉市における少子化進行の理由として考えられることは、「子どもを育てるのにお金がかかるから」(41.6%)が最も多く、次いで「個人の人生観や価値観が多様化したから」(39.1%)、「環境問題や教育問題など子育てに不安な社会環境だから」(36.0%)が多くなっています。



性別との関係でみると、「今後、安定的な収入が保障されないから」という回答は 23.6 ポイント、「子どもを育てるのにお金がかかるから」は 12.8 ポイント、男性が女性より高くなっています。「環境問題や教育問題など子育てに不安な社会環境だから」という回答は、女性が男性より 21.7 ポイント高くなっています。

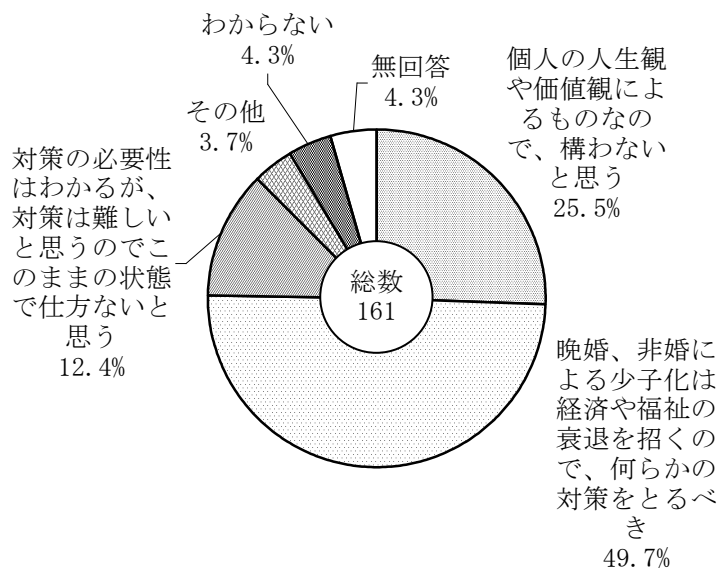
【少子化が進行している理由と性別】

		全体	結婚する年齢が上がってきているから	子どもを育てるのにお金がかかるから	趣味やレジャーを重視するようになったため	仕事を重視するようになったため	育児の心理的・肉体的負担が大きいため	個人の人生観や価値観が多様化したから	女性の社会進出が進んでいるから	家が狭いから	環境問題や教育問題など子育てに不安な社会環境だから
全体		161 100.0	47 29.2	67 41.6	13 8.1	23 14.3	31 19.3	63 39.1	37 23.0	3 1.9	58 36.0
性別	男性	80 100.0	24 30.0	39 48.8	8 10.0	12 15.0	15 18.8	32 40.0	20 25.0	1 1.3	21 26.3
	女性	75 100.0	22 29.3	27 36.0	5 6.7	10 13.3	16 21.3	30 40.0	17 22.7	2 2.7	36 48.0
	無回答	6 100.0	1 16.7	1 16.7	-	1 16.7	-	1 16.7	-	-	1 16.7

		今後、安定的な収入が保障されないから	その他	無回答
全体		55 34.2	8 5.0	9 5.6
性別	男性	37 46.3	4 5.0	1 1.3
	女性	17 22.7	4 5.3	4 5.3
	無回答	1 16.7	-	4 66.7

## (2) 晩婚、非婚についての考え

晩婚、非婚についての考えは、「晩婚、非婚による少子化は経済や福祉の衰退を招くので、何らかの対策をとるべき」(49.7%)が最も多く、次いで「個人の人生観や価値観によるものなので、構わないと思う」(25.5%)、「対策の必要性はわかるが、対策は難しいと思うのでこのままの状態では構わないと思う」(12.4%)となっています。



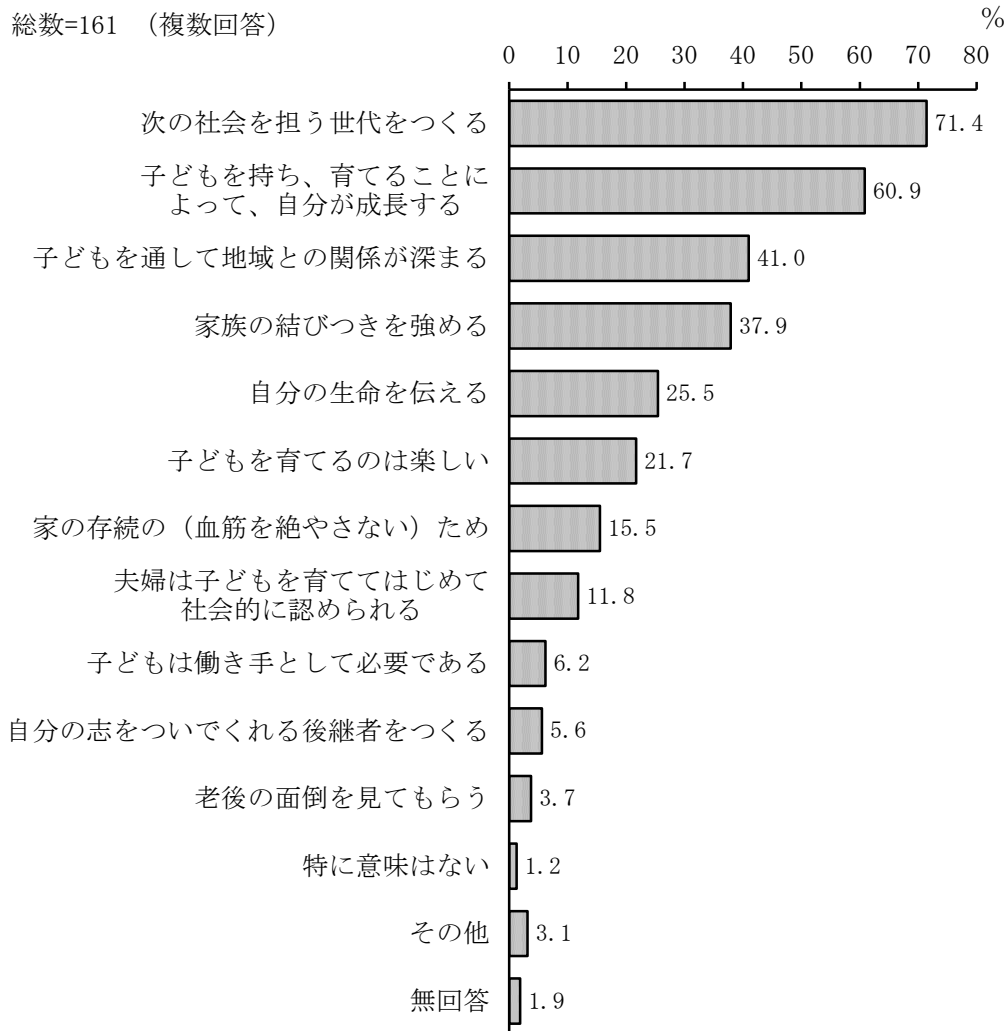
性別との関係でみると、「晩婚、非婚による少子化は経済や福祉の衰退を招くので、何らかの対策をとるべき」という回答は、男性が女性より16.2ポイント高くなっています。

### 【晩婚、非婚への考えと性別】

性別	全体	個人の人生観や価値観によるもの					
		対策の必要性はわかるが、対策は難しいと思うのでこのままの状態では構わないと思う	晩婚、非婚による少子化は経済や福祉の衰退を招くので、何らかの対策をとるべき	難しいと思うのでこのままの状態は	わからない	無回答	
全体	161 100.0	41 25.5	80 49.7	20 12.4	6 3.7	7 4.3	7 4.3
男性	80 100.0	18 22.5	46 57.5	9 11.3	1 1.3	3 3.8	3 3.8
女性	75 100.0	22 29.3	31 41.3	11 14.7	5 6.7	4 5.3	2 2.7
無回答	6 100.0	1 16.7	3 50.0	-	-	-	2 33.3

### (3) 子どもをもつことの意味

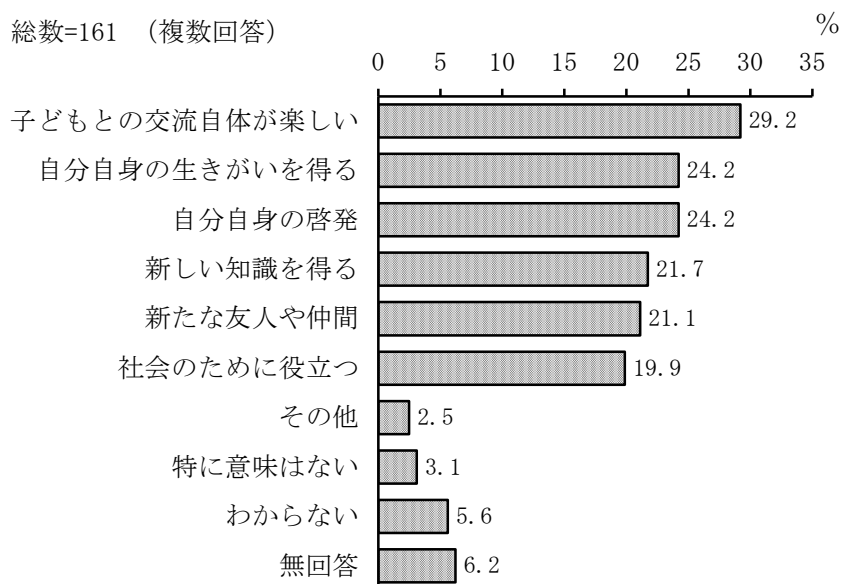
子どもをもつことの意味については、「次の社会を担う世代をつくる」(71.4%)が最も多く、次いで「子どもを持ち、育てることによって、自分が成長する」(60.9%)、「子どもを通して地域との関係が深まる」(41.0%)が多くなっています。



## 4 子育て支援について

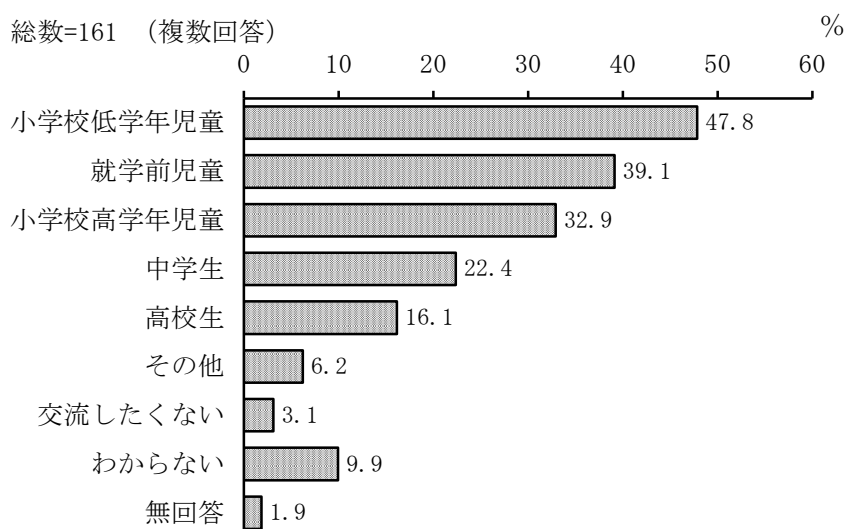
### (1) 子どもとの交流の意味

子どもとの交流の意味についてどう考えるかについては、「子どもとの交流自体が楽しい」(29.2%)が最も多く、次いで「自分自身の生きがいを得ることができる」および「自分自身の啓発につながる」(24.2%)となっています。



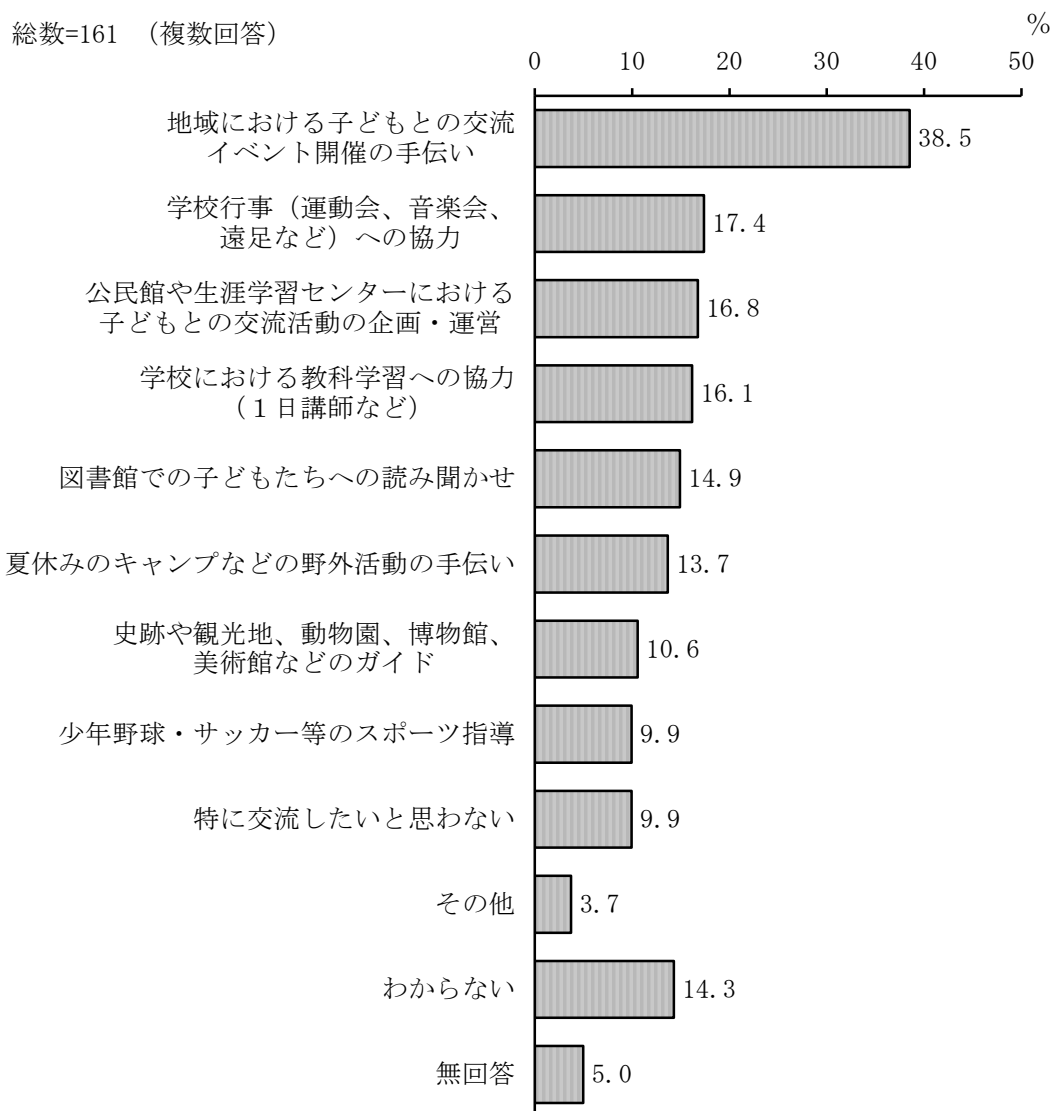
### (2) 交流したい子どもの年齢層

子どもとの交流を考えた時、どの年齢層の子どもと交流したいかについては、「小学校低学年児童(1～3年生)」(47.8%)が最も多く、次いで「就学前児童(乳幼児)」(39.1%)、「小学校高学年児童(4～6年生)」(32.9%)が多くなっています。



### (3) 子どもと望む交流

子どもとどんな交流を望むかについては、「地域における子どもとの交流イベント開催の手伝い」(38.5%)が最も多く、次いで「学校行事(運動会、音楽会、遠足など)への協力」(17.4%)、「公民館や生涯学習センターにおける子どもとの交流活動の企画・運営」(16.8%)、「学校における教科学習への協力(1日講師など)」(16.1%)となっています。



#### (4) 地域の子どもたちへの子育て支援

##### ①地域の子どもたちへの子育て支援【現在の状況】

現在行っている地域の子どもたちへの子育て支援については、「行っている」がいずれも5%未満となっています。一方、「行っていない」は、いずれも7割台となっています。

総数=161

単位:% (5%未満非表示)

	行っている	行っていない	無回答
地域活動事業		78.3	18.0
ファミリーサポートセンター		75.8	23.0
子どもルーム		75.2	22.4
NPOの子育て支援		73.9	23.0
放課後子ども教室		73.3	22.4
その他	28.0	70.2	

(注) 5%未満数値: 園児との交流(3.7) ファミリーサポートセンター(1.2) 子どもルーム(2.5) NPOの子育て支援(3.1) 放課後子ども教室(4.3) その他(1.9)

##### ②地域の子どもたちへの子育て支援【今後の意向】

今後行ってみたい地域の子どもたちへの子育て支援については、「行ってみたい」が、「地域活動事業(保育所(園)での園児と高齢者の交流事業)など」(32.9%)が最も多く、次いで「放課後子ども教室(絵本の読み聞かせ、昔遊びを教えるなど)」(21.7%)、「子どもルーム(指導員、補助指導員)」(16.8%)となっています。一方、「行ってみたいくない」は、いずれもほぼ4割台となっています。

総数=161

単位:% (5%未満非表示)

	行ってみたい	行ってみたいくない	無回答
地域活動事業	32.9	41.0	26.1
ファミリーサポートセンター	13.7	47.8	38.5
子どもルーム	16.8	45.3	37.9
NPOの子育て支援	16.1	44.7	39.1
放課後子ども教室	21.7	39.8	38.5
その他	5.6	15.5	78.9



### (5) 子育て支援の活動に必要な条件

どんな条件を整えば、子育て支援の活動ができるかについては、「活動ができる十分な時間がとれること」(46.6%)が最も多く、次いで「健康に自信がもてること」(37.3%)、「身近に活動グループや仲間がいること」(28.0%)が多くなっています。

